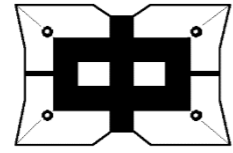




# Puzzle



コミュニティ・スクールだより  
R4年4月 文責 CS推進員 西川希志子



## 令和四年度 新しいコミュニティ・スクールが始まります。

今年度より、河内小・入野小と河内中学校が一緒になった「コミュニティ・スクール」がスタートします。コミュニティ・スクールとは、学校・保護者・地域の皆さんが、共に知恵・声を出し合い、協働し、それぞれの思いを反映させた学校運営を行う仕組みで、保護者・地域の代表・学識経験者などで組織する「学校運営協議会」を設置した学校の事を言います。

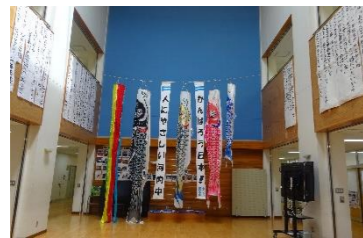
コミュニティ・スクールを導入することで、改めて「地域の中でどのような子供を育てたいか」という目標やビジョン(未来像)を学校・家庭・地域皆で共有し、子供たちの豊かな成長を支えていくことを組織的に継続して進めていく仕組みです。また、こうした取組が、地域の活性化や生きがいづくりにも繋がっていくと期待されています。

第1号のコミュニティ・スクールだよりでは、各学校の取組を紹介します。

### 河内中学校

1947年4月豊田郡河内町立河内中学校として設立され、1968年4月には入野中学校と戸野中学校と統合して、改めて河内町立河内中学校を開校しました。六角形に組み合わせられた蜂の巣校舎の本館を1969年9月に落成しましたが、2001年3月の芸予地震により校舎に被害を受けました。2007年3月に現在の河内中学校の基となる新校舎が完成し、2008年2月には新体育館も完成しました。

日頃河内中学校では、先輩方から受け継いできた、きれいな校舎を美しく使うことを心掛けて無言清掃に取り組んでいます。篠笛や宇山民謡などの和文化学習にも取り組み、毎年、文化祭では生徒たちが日ごろの練習の成果を披露しています。また、この時期には西日本豪雨災害の復興を祈って鯉のぼりをあげています。河内中学校は通学区が広い自治組織「you 愛 sun こうち」・「篁の里」や河内・小田・宇山・戸野・入野地域センターなど、たくさんの地域の方々と一緒に地域行事などにも参加しています。



地域でも子供たちの健やかな成長を祈るとともに、河内町が元気になるようにと、あちこちで鯉のぼりがあがっていました。皆さんも探して見て下さい。



小田 寄りん菜屋にて  
(小田地域センターより)

### 河内小学校

河内小学校は、1876年6月に中河内小学校として民家を以て教場として始まり、1881年に間口9間、奥行き4間の校舎を新築しました。1984年に前校舎が完成しましたが2001年3月の芸予地震で校舎等が被害を受けたため、入野小学校に9月まで避難をしていました。2005年2月に町合併により東広島市立河内小学校と改称しました。2019年に河内西小学校と統合しました。

今年度は河内中学校の敷地に移転して、真新しい校舎での小中一貫教育が始まりました。和文化の伝統として受け継がれてきた「童謡一人歌い」「河内子ども神楽」「河内豊作太鼓」を「児童一人一人が人前でも自信をもって自己表現ができる」という目標で行っています。



### 入野小学校

入野小学校は、1877年10月に入野本校・入野東校・入野南校を創立し、1886年3月3校を統合して入野尋常小学校と称しました。2001年4月、現河内町入野中山台への移転新築の入野小が開校し、芸予地震により河内小学校が緊急避難しました。2005年2月、町合併により東広島市立入野小学校となりました。

入野小学校では、昨年度からSDGsに力を入れていて、新年度には各学年で「目指す子ども像」として、SDGsの観点から一年間の授業計画を立てています。特に総合的な学習の時間には町探検と称し町内を探索に出かけたり、入野小学校の伝統である「篁太鼓」を大切に受け継いでいこうと頑張っています。また、入野の未来像についてプレゼンテーションを行うなどして、地域の方たちと一緒に活動をしています。



宇山地域センターにて



河戸地域センターにて



下河内 一夜原にて  
(you 愛 sun こうちより)

